



## 青森県感染症発生情報 (2023年第33週)

### I 第33週の発生動向 (2023/8/14~2023/8/20)

- ヘルパンギーナについては、東地方+青森市保健所管内、弘前保健所管内、三戸地方+八戸市保健所管内及び五所川原保健所管内で**警報**が継続しています。一方、上十三保健所管内の警報は**解除**となりました。
- 新型コロナウイルス感染症については、報告数が前週から500人以上増加しています。

### II 第33週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

は警報、は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

		東青 (東地方+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原 保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週 からの 増減 数
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	インフルエンザ	2	0.17					2	0.29	5	0.56			9	0.15	-3
	新型コロナウイルス感染症※	321	26.75	231	17.77	325	25.00	224	32.00	281	31.22	174	29.00	1556	25.93	565
小児科	RSウイルス感染症	4	0.57	2	0.25	4	0.50	2	0.40					12	0.32	-16
	咽頭結膜熱	1	0.14	1	0.13	1	0.13	2	0.40	2	0.33	1	0.25	8	0.21	5
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			1	0.13	1	0.13							2	0.05	-5
	感染性胃腸炎	16	2.29	17	2.13	21	2.63	17	3.40	2	0.33			73	1.92	2
	水痘	2	0.29			1	0.13							3	0.08	2
	手足口病	2	0.29			2	0.25	6	1.20					10	0.26	-6
	伝染性紅斑															0
	突発性発しん	1	0.14	1	0.13	2	0.25							4	0.11	-4
	ヘルパンギーナ	15	2.14	24	3.00	17	2.13	11	2.20	7	1.17	1	0.25	75	1.97	-69
流行性耳下腺炎									1	0.17			1	0.03	0	
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎					1	0.50							1	0.10	0
基幹	感染性胃腸炎(ロウイム)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎											1	1.00	1	0.17	1
	無菌性髄膜炎															-2

※新型コロナウイルス感染症については、青森県庁ホームページ「新型コロナウイルス感染症について」をご覧ください。

(<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenko/hoken/covid19.html>)

また、新型コロナウイルス感染症の発生状況に関しては、保健衛生課 (TEL:017-734-9871) にお問い合わせください。

## 感染症の窓

青森県感染症発生情報では、定点把握感染症のうち、流行状況を早期に把握することが必要な疾患を迅速に注意喚起するために、「警報」や「注意報」という形でお知らせしています。

警報レベルは「大きな流行が発生または継続しつつあると疑われること」、注意報レベルは、流行の発生前であれば「今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと」、流行の発生後であれば「流行が継続している(終息していない)と疑われること」を指します。警報・注意報レベルの基準値は、定点当たり報告数として、疾患ごとに右表のとおり定められています。

注意報レベルは表中の『基準値』以上となった場合を指します。また、警報レベルは表中の『開始基準値』以上で始まり、『終息基準値』未満で終了します。このため、定点当たり報告数が一度警報レベルの開始基準値以上になると、終息基準値未満になるまで警報レベルは継続されます。

本県の直近のヘルパンギーナの例では、第30週時点での定点当たり報告数が警報レベルの開始基準値6.0以上であった5保健所のうち、4保健所については第33週時点で開始基準値6.0は下回りましたが、終息基準値2.0は下回らなかったため、警報は継続となりました。

県では、今後も上記基準で情報を提供していきますので、お役立て下さい。

### 感染症発生情報における警報・注意報

表 警報・注意報レベルの基準値

疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30.0	10.0	10.0
咽頭結膜熱	3.0	1.0	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	-
感染性胃腸炎	20.0	12.0	-
水痘	2.0	1.0	1.0
手足口病	5.0	2.0	-
伝染性紅斑	2.0	1.0	-
ヘルパンギーナ	6.0	2.0	-
流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0
急性出血性結膜炎	1.0	0.1	-
流行性角結膜炎	8.0	4.0	-

※表中の基準値はすべて定点当たり報告数です。

※注意報の「-」は注意報の対象としないことを意味します。

### Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核(二類感染症) : 青森市 2 人、弘前 1 人、五所川原 1 人 (2023 年計 : 71 人)
- ・カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 (五類感染症) : 青森市 1 人、上十三 1 人 (2023 年計 : 18 人)
- ・クリプトスポリジウム症 (五類感染症) : 上十三 1 人 (2023 年計 : 1 人)
- ・劇症型溶血性レンサ球菌感染症 (五類感染症) : 弘前 1 人 (2023 年計 : 8 人)

### Ⅳ 病原体検出情報

報告はありませんでした。

### Ⅴ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況 (2023 年第 30 週～2023 年第 33 週)

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
30			梅毒1人			百日咳1人
31					カルバペネム耐性 腸内細菌目細菌感 染症1人	
32					腸管出血性大腸菌 感染症1人 後天性免疫不全症 候群1人	
33	カルバペネム耐性 腸内細菌目細菌感 染症1人	劇症型溶血性レン サ球菌感染症1人			カルバペネム耐性 腸内細菌目細菌感 染症1人 クリプトスポリジウ ム症1人	

第 32 週に上十三保健所管内で後天性免疫不全症候群 (HIV 感染症を含む) 1 人の届出がありましたので、追加しました。

### Ⅵ 結核(二類感染症) (2023 年第 30 週～2023 年第 33 週) (人)

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
30					1	
31	1	2		1		
32		1				
33	2	1		1		

**Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）**（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

**全国**（2023年第1週～第32週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	エムボックス
累積報告数	8415	1	23	1815	26	6	368	34	9	186
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	オウム病	回帰熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	ブルセラ症
累積報告数	6	13	1	104	2	108	59	226	1	1
分類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	マラリア	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症
累積報告数	11	18	1291	8	304	155	1109	37	335	5
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症
累積報告数	90	511	595	30	339	11	1108	238	9213	106
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症				
累積報告数	65	79	568	11	22	11				

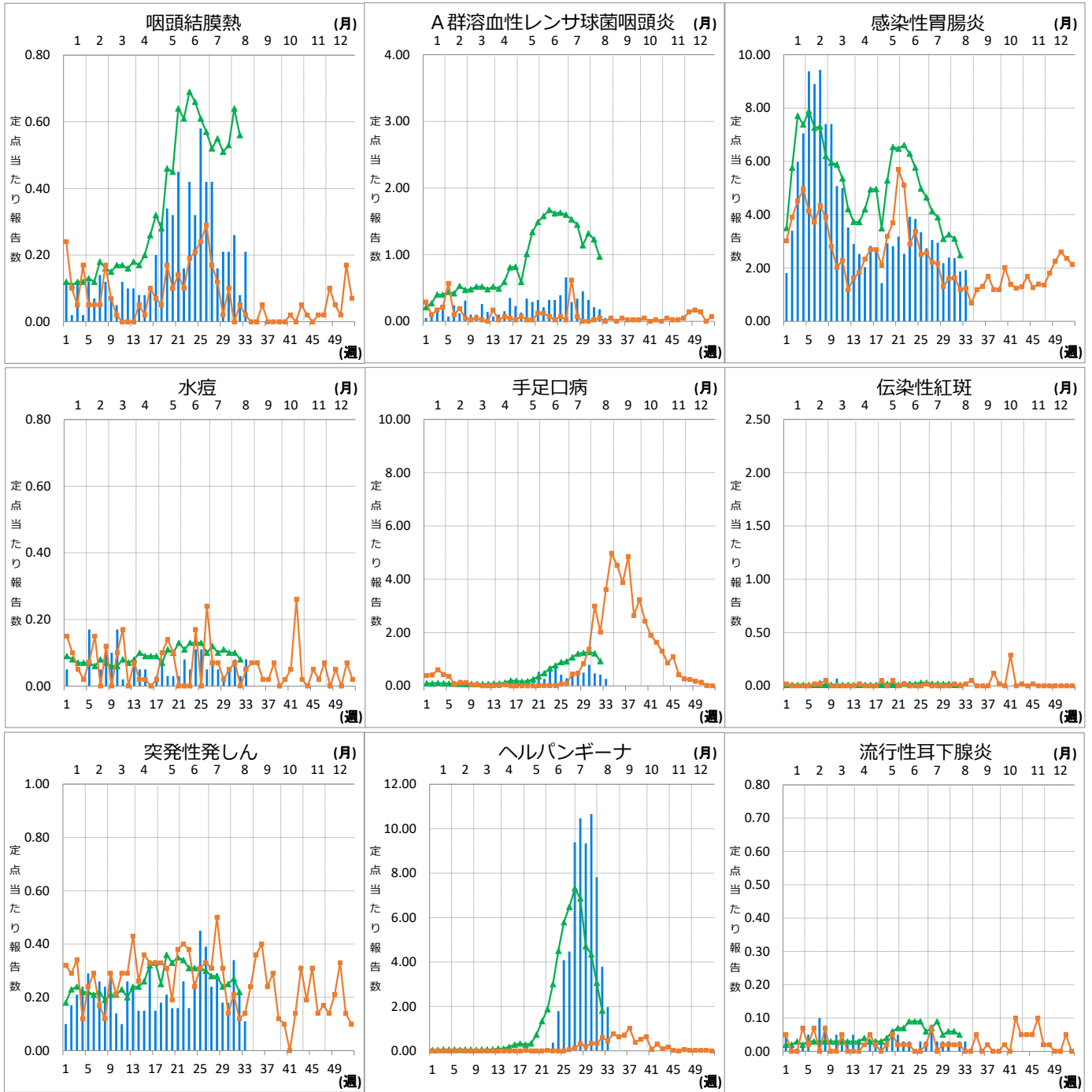
**青森県**（2023年第1週～第33週までの累計）

分類	二類	三類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病
累積報告数	71	11	2	8	7	1	2	18	1	2
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	梅毒	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳		
累積報告数	8	2	1	14	20	2	1	6		

**Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2023年第33週、ただし全国は前週）**

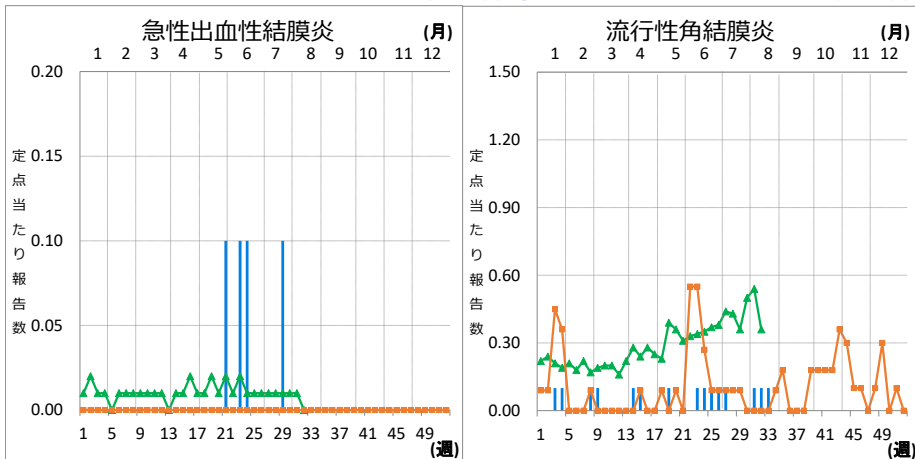
**グラフの説明** ■は2023年青森県、■は2022年青森県、▲は2023年全国





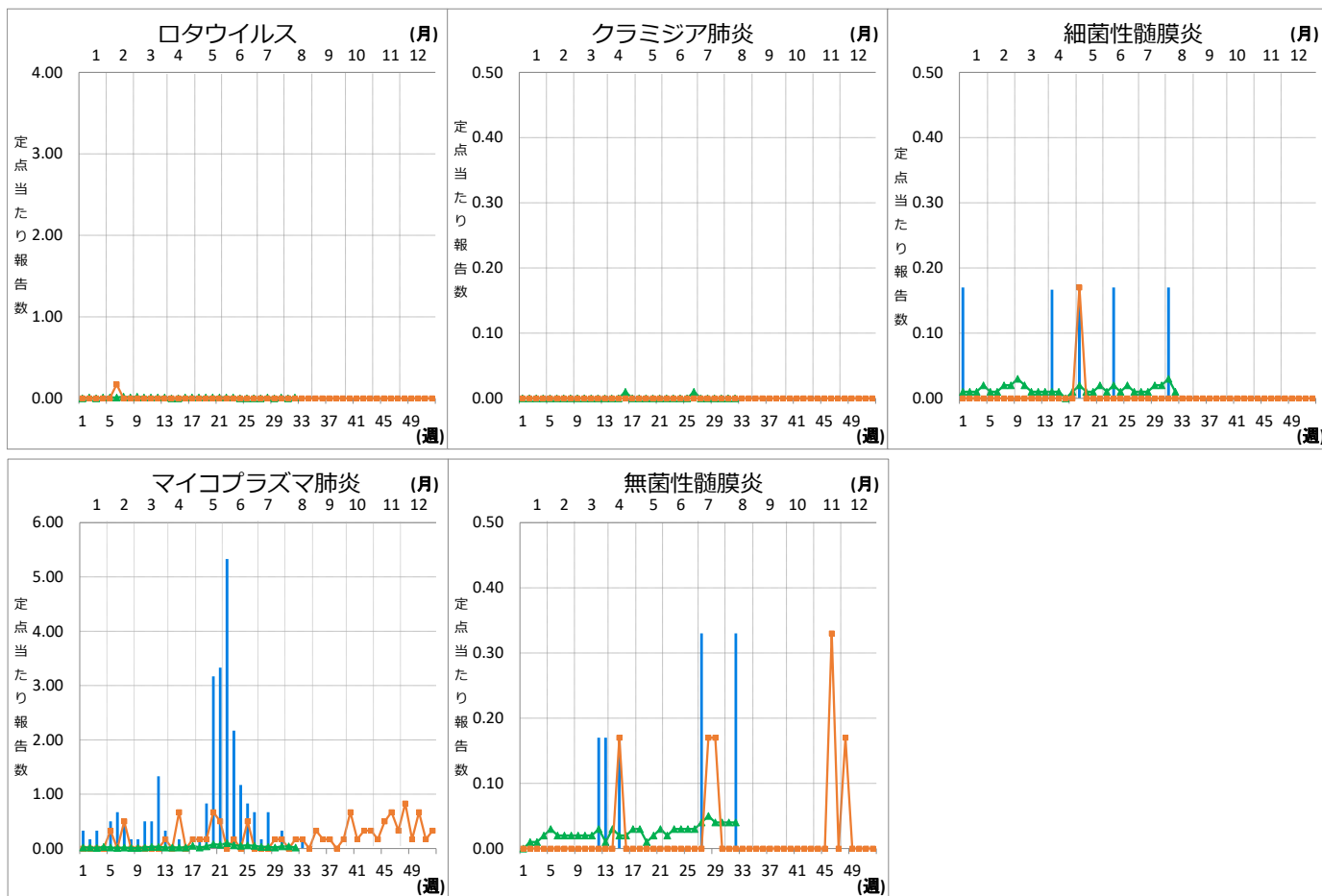
**Ⅹ 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2023年第33週、ただし全国は前週)**

**グラフの説明** **■**は2023年青森県、**■**は2022年青森県、**▲**は2023年全国



## X 基幹定点把握対象疾患週別推移（2023年第33週、ただし全国は前週）

グラフの説明 は2023年青森県、 は2022年青森県、 は2023年全国



## XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2023年第33週

報告はありませんでした。

2023年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	月(週)								計 (施設)		
		1月 1-4週	2月 5-8週	3月 9-13週	4月 14-17週	5月 18-21週	6月 22-26週	7月 27-30週	8月 31週 32週 33週 34週			
介護・老人福祉関係施設	件数	2	1	4	0	1	0	0	0	0	0	8
	発症者数	25	10	90	0	18	0	0	0	0	0	143
児童・婦人関係施設等	件数	5	8	5	3	0	0	0	0	0	0	21
	発症者数	102	148	69	65	0	0	0	0	0	0	384
障害関係施設	件数	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	4
	発症者数	26	26	49	16	0	0	0	0	0	0	117
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	8	10	10	4	1	0	0	0	0	0	33
	発症者数	153	184	208	81	18	0	0	0	0	0	644